



特別
~ 10
2266
2



徒
然
草
仲

利
2266
卷 2止



糸をぬきけは後乃菱やうきなりとてあふ人の見
そちうとみめしうせられゆいりまきあてぢぢ
ゆいりまき人乃いあまられたらるまふ
やとあひりいと田路内ゆり

くればしうれたのそりあふふみよの菱
乃し菱たりたりともあも母のうきふ菱は
かちうりし菱いとあふりい家乃集りうきり
ゆきうりし乃初ゆふしうりあひりうきり
いりくうりしゆり花をあふりうきり
きねしうりし菱をうりくうりうりうり
あひりうりし菱鴨長明のうきも流しうきれ

よ後乃あふひをうりたりとてあふりうり
ゆいりうりうあふりうきゆりうりうり
ゆきうりうりうりうり九月の日は菱
ゆきうりうりうりうりうりうりうり
きうりうり批把乃白太兵衛うりうり
いりゆらち乃うりうりうりうりうり
ゆきうりうりうりうりうりうりうり
乃あはのうりうりうりうりうりうり
はのゆりうりうり

家いあひりうりうりうりうりうり
をうりうりうりうりうりうりうり

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and spans the entire width of the page.

Handwritten text in Arabic script, continuing from the previous page. The text is written in a cursive style and spans the entire width of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page. The script is dense and fluid, with varying line heights and frequent ascenders and x-heights. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. The script is consistent with the previous page, showing a high level of fluency and skill. The lines are well-spaced, and the overall appearance is that of a professional or highly trained scribe.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy, covering the left page of the manuscript. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines, with varying line lengths and some decorative flourishes.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy, covering the right page of the manuscript. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines. A small vertical mark or character is visible near the top left of the page.


~~~~~

甲子 義平乃しん~~~~~

~~~~~

~~~~~

畫ま乃乃しん~~~~~

~~~~~

甲子 入ま乃乃しん通眼しん~~~~~

~~~~~

首ま摺しん~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

苑乃乃しん~~~~~

甲子 乃乃しん~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~























Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.

五十四

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.

五十三











五十八  
ある人々家繩をとりけりて少神一人はこゝろ  
人木つらり乃此處と曰乃中此多ふとひら  
く無きありひらりゆらひらりて神將家乃  
男二三人世にたつて海にあらはれ人  
とくしきつよもたふ我由たは海もくはり  
けりよつひたつてまひりけり神ありてんと  
たふき人ありてあり

五十九  
東大寺乃神興東も乃あふりて神ありて海  
乃ら御まきまけりて及たつてくはれとをれ  
けりてと神門相回新形もくはる神りてはる  
らんとやされまきし陸奥乃振舞を名仗は家

りまき事少とつらりて人あふりて神ありて海  
をば相ま少乃たつてくはれとをれとをれ  
まきりてられ眷属乃無鬼無神とたつてはる  
神新もくはれとをれとをれとつらりありて海  
られまき

六十一  
徳乃傍りてありて定家乃女孺とて事延喜  
或りてありてたつてくはれとをれとつらり  
號ありてあり  
揚名ありてありて揚名目とつてありてあり  
要畧ありてあり

六十二  
横川乃幼宣はありてありて唐去る名乃四なり



律乃多り〜和國と云律乃回〜

辛三

兵行を業ほき〜河弁を業ひり〜出海を〜

辛四

追凡下業乃多勢海を〜

辛五

十月と律と月と〜

〜

〜

〜

律を倒し〜

辛六

勅諭乃可〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

辛七

以教し〜



































とりの入るなりとよき凡種乃あるを黄種網女  
つぎをきき乃網子祇園精舎乃を常院の寺  
たりあ園子の種とてさしてつくる今とて  
よきをたつたれはとてつくる今とて  
四よりあつたれより浄念財院乃の教又  
とてさしてつくる

八十二

建治弘安乃はをききの見れ放免乃つげゆとや  
なる結の布四の端つて馬とほつてつくる  
とてさしてつくる乃井つてつくる水干つ  
けつてつくるつてつくるつてつくる  
つてつくるつてつくるつてつくる  
つてつくるつてつくるつてつくる

八十四

竹岩乃まね房東二集院つてつくる  
とてさしてつくるつてつくるつてつくる  
つてつくるつてつくるつてつくる  
つてつくるつてつくるつてつくる  
つてつくるつてつくるつてつくる  
つてつくるつてつくるつてつくる  
つてつくるつてつくるつてつくる



あつたの経よりんなるはつて何ふ人かといひ  
移してとせあつてついでとらんといひて中絶乃怪  
たうに行きて此より随羅尼といふ所はつたなり  
しつちとれける

八十五

あつた乃のなつてついでとらんといひて中絶乃怪  
たうに行きて此より随羅尼といふ所はつたなり  
しつちとれける

八十六

陰陽師青宗入道羅倉らのついでとらんといひて  
てまうつてついでとらんといひて中絶乃怪  
たうに行きて此より随羅尼といふ所はつたなり  
しつちとれける

八十七

あつたの経よりんなるはつて何ふ人かといひ  
移してとせあつてついでとらんといひて中絶乃怪  
たうに行きて此より随羅尼といふ所はつたなり  
しつちとれける



後鳥羽院乃沖時信濃前司幼長孫也乃卷  
 也有りける。樂府乃中編乃曲よめたりし  
 七位乃まひとふらひし。わらわのけしき。いづれ乃  
 冠とて。号ふふと。しき。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 音。同。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 あ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 こ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 長入通平家也。信と。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 音。同。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 ち。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 半のせ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。

一。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 幸。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 一。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 とい。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 六。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 信。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 ち。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 て。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 後。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
 同。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。

千。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。



























しつやうとくふんをもちよめはつて名  
なりして名をふりしつじやうふはつて  
と名の教のしをくしつとをきつりつ  
教のしつめはつて名をふりしつ  
教のしつめはつて名をふりしつ  
たつて名をふりしつ

一人あつて名をふりしつて名をふりしつ  
常のきつりしつて名をふりしつ  
理行成りしつて名をふりしつ  
と名をふりしつて名をふりしつ  
らつて名をふりしつ

しつて名をふりしつて名をふりしつ  
しつて名をふりしつて名をふりしつ  
しつて名をふりしつて名をふりしつ  
しつて名をふりしつて名をふりしつ

しつて名をふりしつて名をふりしつ  
しつて名をふりしつて名をふりしつ  
しつて名をふりしつて名をふりしつ  
しつて名をふりしつて名をふりしつ

しつて名をふりしつて名をふりしつ  
しつて名をふりしつて名をふりしつ  
しつて名をふりしつて名をふりしつ  
しつて名をふりしつて名をふりしつ











と申すもぬわあらん病乃行の事と位はる存  
たうして死の病とてさういふ病の事と病  
をうとて死の病とてさういふ病の事と病  
乃多しわたりて生乃中とて死乃中とて病  
てのらつあらん病とて死の病とて病  
うけて死の病とて死の病とて病  
うらうとて年月乃病とて病とて病  
ふらうとて命とて病とて病とて病  
はまはる病とて病とて病とて病  
あうとて病とて病とて病とて病  
なうとて病とて病とて病とて病

らん病とて病とて病とて病  
うらうとて病とて病とて病  
乃多しわたりて生乃中とて死乃中とて病  
ふらうとて命とて病とて病とて病  
はまはる病とて病とて病とて病  
あうとて病とて病とて病とて病  
なうとて病とて病とて病とて病

1011  
らん病とて病とて病とて病  
乃多しわたりて生乃中とて死乃中とて病  
ふらうとて命とて病とて病とて病  
はまはる病とて病とて病とて病  
あうとて病とて病とて病とて病  
なうとて病とて病とて病とて病



うゑ多欲にうゑは使さるゝうは乃おほひに  
よはまゝん是顛倒乃おほりめうりてうゑ  
乃うりひありりめうゑんはきう

可

公うちやう一年又う回てうゑのれをうゑの地  
あうゑんとうふらうゑのれは人乃成るる  
と又回をちあうゑのれはあうゑんを  
又喜佛乃うゑのれをうゑのれはうゑのれ  
うゑのれはうゑのれはうゑのれはうゑのれ  
ちうゑのれはうゑのれはうゑのれはうゑのれ  
うゑのれはうゑのれはうゑのれはうゑのれ  
うゑのれはうゑのれはうゑのれはうゑのれ  
て興うゑ







